

高校教員の6割「秋入学反対」

高校教員の60%が大学の秋入学移行に否定的。進学情報提供会社「さんぼう」の調査で23日、こんな傾向が浮かんた。東大などが導入を検討しているが、高校関係者から異論が出た形で、曲折がありそうだ。

調査は、東北と関東、近畿地方の高校などに実施し、223校の進路指導担当者らが回答した。

秋入学について「反対」は14%で、「どちらかといえば反対」も46%に上り、計60%が否定的な意見を示した。「全面移

行に賛成」は14%、「春と秋の同時実施」を望むのは26%だった。

導入された場合の一般入試の時期をいつにすべきかに関しては複数回答で、高校卒業前後の「2～3月」が41%で最多。卒業してから大学入学までの「6～7月」38%、「8月」25%と続いた。自由記述では、「小中高校の春入学、春卒業を変更しないと弊害が出る」「大学入学までの半年間に生徒の学習意欲が低下する」といった意見が目立った。